

# CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

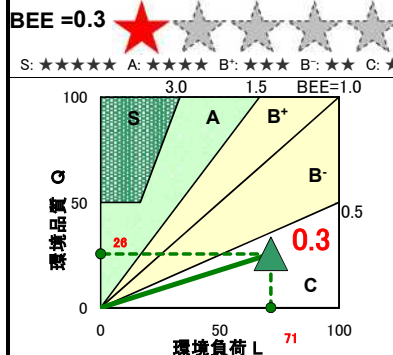
■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v.3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	日成運輸株式会社(1)	階数	地上2F
建設地	埼玉県児玉郡美里町	構造	S造
用途地域	無指定地域	平均居住人員	10人
地域区分	5地域	年間使用時間	2160時間/年(想定) 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年3月(予定) 予定	評価の実施日	2021年6月1日
敷地面積	14,225 m <sup>2</sup>	作成者	山下武史
建築面積	4,929 m <sup>2</sup>	確認日	2021年6月1日
延床面積	5,065 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

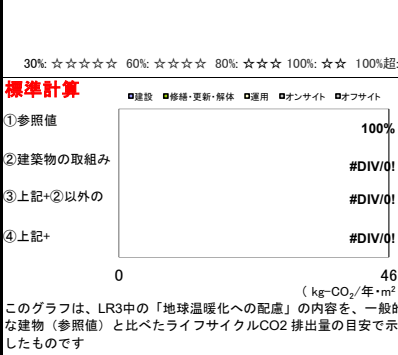
**BEE = 0.3** ★☆☆☆☆



環境効率: 0.3  
環境負荷 L: 71

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

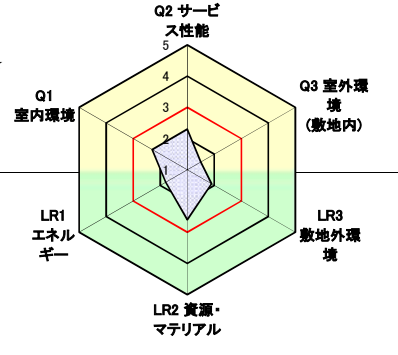
標準計算



①参照値  
②建築物の取組み  
③上記+②以外の  
④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安を示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

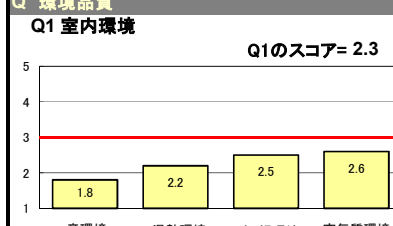


### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

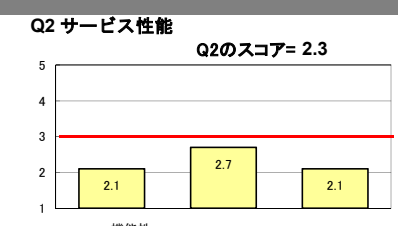
##### Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.3



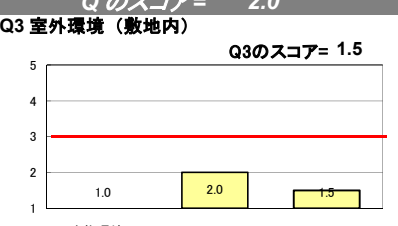
##### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.3



##### Q3 室外環境(敷地内)

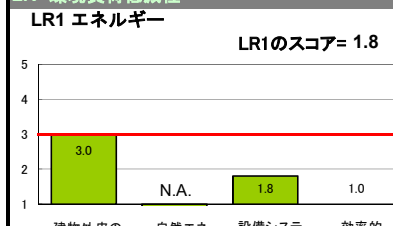
Q3のスコア= 1.5



#### LR 環境負荷低減性

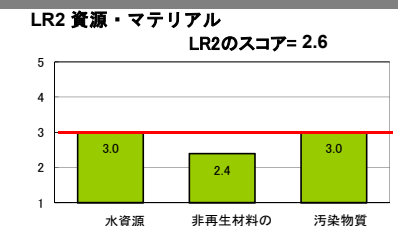
##### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 1.8



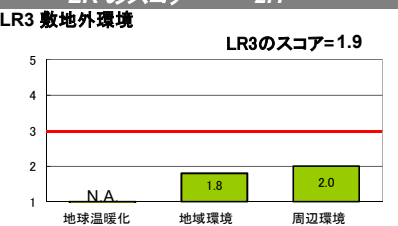
##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.6



##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 1.9



3 設計上の配慮事項	
総合	その他
<p>主要用途が営業倉庫を営む倉庫であるため、屋根・外壁に垂鉛材鋼板を採用し外装の防汚措置を施した。内装にも防汚性の材料を使用した。</p>	
<h4>Q1 室内環境</h4> <p>今回の計画では、配慮事項なし</p>	<h4>Q2 サービス性能</h4> <p>内装仕上げに防汚性の材料を使用。外装に効果的な水切りを設け、壁面の汚れの低減を図っている。外部に露出する金属部材にメッキ処理を施した部材を用い防錆対策を講じている。</p>
<h4>Q3 室外環境(敷地内)</h4> <p>天井スペースが確保されており、構造部材だけでなく、仕上材を痛めることなく空調配管の更新・修繕ができる。構造部材を痛めることなく電気配線の更新・修繕ができる。主要設備機器の更新に対応した仮設スペースが確保でき、かつ更新・修繕時に建築物の機能を維持できる状況にある。</p>	
<h4>LR1 エネルギー</h4> <p>今回の計画では、配慮事項なし</p>	<h4>LR2 資源・マテリアル</h4> <p>躯体と仕上材が容易に分別可能となっている。内装と設備が錯綜せず、解体・改修・更新の際に、容易にそれぞれを取り外すことができる。</p>
	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <p>適切な量の駐車場を確保した。管理用の駐車場を確保、荷捌き用駐車スペースを確保した。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
**日成運輸(株)倉庫(1)**

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト:

CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
<b>Q 建築物の環境品質</b>									<b>2.0</b>
<b>Q1 室内環境</b>					<b>0.30</b>		-		<b>2.3</b>
<b>1 音環境</b>				<b>1.8</b>	0.15	-	-		<b>1.8</b>
1.1 室内騒音レベル				<b>1.0</b>	0.40	-	-		
1.2 遮音				<b>2.2</b>	0.40	-	-		
1 開口部遮音性能				3.0	0.60	-	-		
2 界壁遮音性能				1.0	0.40	-	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	-	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	-	-		
1.3 吸音				<b>3.0</b>	0.20	-	-		
<b>2 温熱環境</b>				<b>2.2</b>	0.35	-	-		<b>2.2</b>
2.1 室温制御				-	-	-	-		
1 室温				-	-	-	-		
2 外皮性能				-	-	-	-		
3 ゾーン別制御性				-	-	-	-		
2.2 湿度制御				<b>1.0</b>	0.40	-	-		
2.3 空調方式				<b>3.0</b>	0.60	-	-		
<b>3 光・視環境</b>				<b>2.5</b>	0.25	-	-		<b>2.5</b>
3.1 昼光利用				<b>3.0</b>	0.30	-	-		
1 昼光率				-	-	-	-		
2 方位別開口				-	-	-	-		
3 昼光利用設備				<b>3.0</b>	1.00	-	-		
3.2 グレア対策				<b>2.0</b>	0.30	-	-		
1 昼光制御				<b>2.0</b>	1.00	-	-		
3.3 照度				<b>2.0</b>	0.15	-	-		
3.4 照明制御				<b>3.0</b>	0.25	-	-		
<b>4 空気質環境</b>				<b>2.6</b>	0.25	-	-		<b>2.6</b>
4.1 発生源対策				<b>3.0</b>	0.50	-	-		
1 化学汚染物質				<b>3.0</b>	1.00	-	-		
4.2 換気				<b>3.0</b>	0.30	-	-		
1 換気量				3.0	0.33	-	-		
2 自然換気性能				3.0	0.33	-	-		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33	-	-		
4.3 運用管理				<b>1.0</b>	0.20	-	-		
1 CO <sub>2</sub> の監視				1.0	1.00	-	-		
2 喫煙の制御				-	-	-	-		
<b>Q2 サービス性能</b>				-	<b>0.30</b>	-	-		<b>2.3</b>
<b>1 機能性</b>				<b>2.1</b>	0.40	-	-		<b>2.1</b>
1.1 機能性・使いやすさ				<b>2.0</b>	0.40	-	-		
1 広さ・収納性				1.0	0.33	3.0	-		
2 高度情報通信設備対応				2.0	0.33	3.0	-		
3 バリアフリー計画				3.0	0.33	-	-		
1.2 心理性・快適性				<b>2.0</b>	0.30	-	-		
1 広さ感・景観				3.0	0.33	3.0	-		
2 リフレッシュスペース				2.0	0.33	-	-		
3 内装計画				1.0	0.33	-	-		
1.3 維持管理				<b>2.5</b>	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保				2.0	0.50	-	-		
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>2.7</b>	0.30	-	-		<b>2.7</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振				<b>3.0</b>	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				<b>3.0</b>	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				-	-	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.25	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.13	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.13	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.25	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.25	-	-		
2.4 信頼性				<b>1.6</b>	0.20	-	-		
1 空調・換気設備				1.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20	-	-		
3 電気設備				1.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法				1.0	0.20	-	-		

	5	通信・情報設備		2.0	0.20	-	-	
--	---	---------	--	-----	------	---	---	--

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>2.1</b>	0.30	-	-	<b>2.1</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>1.4</b>	0.43	-	-	
1	階高のゆとり		1.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ		2.0	0.40	-	-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			-	-	-	-	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>2.7</b>	0.57	-	-	
1	空調配管の更新性		2.0	0.25	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.25	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.13	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.13	-	-	
5	設備機器の更新性		-	-	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.25	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.40	-	-	<b>1.5</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>1.0</b>	0.30	-	-	<b>1.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>			<b>2.0</b>	0.40	-	-	<b>2.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>1.5</b>	0.30	-	-	<b>1.5</b>
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		<b>1.0</b>	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		<b>2.0</b>	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>2.1</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	0.40	-	-	<b>1.8</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>			<b>3.0</b>	0.22	-	-	<b>3.0</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>			-	-	-	-	-
<b>3 設備システムの高効率化</b>		[BEI][BEIm] = -	<b>1.8</b>	0.56	-	-	<b>1.8</b>
<b>4 効率的運用</b>			<b>1.0</b>	0.22	-	-	<b>1.0</b>
集合住宅以外の評価			<b>1.0</b>	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		1.0	1.00	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	0.30	-	-	<b>2.6</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
<b>1.1 節水</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
<b>1.2 雨水利用・雑排水等の利用</b>			<b>3.0</b>	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>2.4</b>	0.60	-	-	<b>2.4</b>
<b>2.1 材料使用量の削減</b>			2.0	0.11	-	-	
<b>2.2 既存建築躯体等の継続使用</b>			3.0	0.22	-	-	
<b>2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用</b>		-	3.0	0.22	-	-	
<b>2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用</b>		-	1.0	0.22	-	-	
<b>2.5 持続可能な森林から産出された木材</b>			-	-	-	-	
<b>2.6 部材の再利用可能性向上への取組み</b>			3.0	0.22	-	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
<b>3.1 有害物質を含まない材料の使用</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	
<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>			<b>3.0</b>	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		-	-	-	-	
3	冷媒		3.0	1.00	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	0.30	-	-	<b>1.9</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>			-	-	-	-	-
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>1.8</b>	0.50	-	-	<b>1.8</b>
<b>2.1 大気汚染防止</b>			<b>3.0</b>	0.25	-	-	
<b>2.2 温熱環境悪化の改善</b>			<b>1.0</b>	0.50	-	-	
<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>			<b>2.5</b>	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>2.0</b>	0.50	-	-	<b>2.0</b>
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.50	-	-	
2	振動		3.0	0.50	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
<b>3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制</b>			<b>1.6</b>	0.40	-	-	
1	風害の抑制		1.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
<b>3.3 光害の抑制</b>			<b>1.0</b>	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうちがに漏れる光への対策		1.0	1.00	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		-	-	-	-	

# CASBEE埼玉県 重点項目シート


■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

## 1 建物概要

建物名称	日成運輸(株)倉庫(1)	BEE	0.3	BEEランク	★
------	--------------	-----	-----	--------	---

## 2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
0.0	+	1.3	=	1.3 
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上 	非常によい 6.8以上 	すばらしい 8.0以上 	

## 3 重点項目についての環境配慮概要

<b>(1) ライフサイクルCO2の削減</b>		スコア平均	0.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	0.0
今回計画での配慮なし			
<b>(2) 緑の保全・創出</b>		スコア平均	1.3
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	1.0
外構緑化指数が20%以上50%未満を満たす規模の外構緑化を行っている。 敷地や建物の緑化条件に応じた適切な緑地づくりを行っている。			

 :入力欄